

## 事業評価書

補助事業名	村立伊江小学校・伊江幼稚園備品購入						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	<p>伊江村立伊江小学校及び伊江幼稚園の建物は、共に築35年以上経過し、老朽化が著しいことから、耐力度調査を行った結果、「構造上危険な建物」と判断され、平成26年度から文科省補助にて改築を進めているところである。</p> <p>同様に現状の備品についても老朽化が目立ち、テーブルがぐらつき倒れたり、腐食によりパーツが欠けていたり十分な安全性が確保できない状況である。</p> <p>このことから、本事業により備品購入を行うことで、安全かつ快適な学習環境を整え、園児及び児童の学力及び学習意欲の向上に寄与する。</p>						
補助事業の内容	備品購入 公共用備品 一式						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		平成27年度					計
	事業費	17,280,000					17,280,000
	交付金額	17,000,000					17,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【安全かつ快適な学習環境の確保についての成果及び評価】</b> 整備後、教職員及び保護者等へ以下の内容についてアンケート調査を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 園児及び児童に対する安全面、機能面が改善しているか。</li> <li>2) 園児及び児童の学習意欲向上と体力の保持増進に繋がったか。</li> </ol> <p><b>【地域住民への周知の状況】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 村ホームページ及び村広報誌2016年7月号に掲載。</li> <li>2) 地元区長会にて計画内容を周知。</li> <li>3) 備品に「平成27年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</li> </ol>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な備品管理に取り組むとともに、園児・児童の学力及び学習意欲の向上に寄与する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	陸上競技用備品購入						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字西江前地内						
補助事業の成果の目標	<p>伊江村内の棒高跳競技は、村陸上競技大会をとおして幅広く村民が参加しており、村民の競技力向上及び世代間のスポーツ交流を図ってきた。</p> <p>しかし、現在使用している棒高跳び備品は整備後60年を経過するものがあり、旧式が故に競技運営に支障を来している状況である。</p> <p>このことから、本事業により棒高跳び備品を更新し、安全で円滑な競技環境を整え、今後も村民の競技力向上及び世代間のスポーツ交流を図っていくものである。</p>						
補助事業の内容	備品購入 棒高跳用備品 一式						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		平成27年度					計
	事業費	6,336,360					6,336,360
	交付金額	5,400,000					5,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【安全で円滑な競技環境の整備、村民の学力向上及び世代間のスポーツ交流についての成果及び評価】</b></p> <p>整備後、施設利用者へアンケート調査を行った結果、安全面、村民の技術力、世代間のスポーツ交流、地域活動の強化各々の向上に繋がったとの声が多く、90%以上が「満足」との回答となったことから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p><b>【地域住民への周知の状況】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 村ホームページ及び村広報誌2016年7月号に掲載。</li> <li>2) 地元区長会にて計画内容を周知。</li> <li>3) 購入備品に「平成27年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</li> </ol>						
事業の改善措置及び今後の対応	備品の管理を徹底し、安全な陸上競技運営等を実施し、村民の健やかな体と生きがいがいづくりの推進と地域活性化を図る						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	外科用X線装置購入						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村東江前に所在する伊江村立診療所は、本村唯一の医療機関であり、これまで村民に対し医療・保健の提供及び健康の維持・増進を図ってきた。</p> <p>村内の透析患者について、血管の状態や血液の流れを詳細に把握して迅速な医療処置を必要とする患者が数名おり、現在の診療所に設置されているX線装置では静止画撮影のみの機能のため、十分な検査が行えず、村外の医療機関への紹介を余儀なくされるケースが生じている。</p> <p>このことから、本事業により動画撮影が可能なX線装置を購入し、村内での適切な医療処置を行えるようにすることで、安定的な医療・保健の提供を確保し、今後も村民の健康の維持・増進を図るものである。</p> <p>(参考指標) 透析患者に係る村外医療機関紹介件数4件以下 (26年度9件)</p>						
補 助 事 業 の 内 容	外科用X線装置 1台						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		平成27年度					計
	事業費	5,832,000					5,832,000
	交付金額	5,000,000					5,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【村内での適切な医療処置についての成果及び評価】</b> 整備後、1年間の診療状況を確認した結果、透析患者に係る村外医療機関紹介件数は、2件となったことから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p><b>【地域住民への周知の状況】</b> 1) 村ホームページ及び村広報誌2016年7月号に掲載。 2) 地元区長会にて計画内容を周知。 3) 備品に「平成27年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	今後も安定した医療・保健の提供を確保し、村民の健康の維持・増進を促す。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	村民レク広場備品購入						
補 助 事 業 者 名	伊江村長						
実 施 場 所	伊江村地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村には、村内外の子供から老人までがスポーツや自然観察を通して交流を行うための村民レク広場が整備されており、これまで多くの利用者が訪れ、村の観光振興に寄与してきた。</p> <p>しかし、広場を維持管理するための各種作業用機械（乗用5連フェアウェイモア・乗用バンカーレーキ・汎用トラクター）及び乗用カートについて、古いものでは整備後14年が経過し、老朽化による不具合が年15回程度生じており、本施設の運営に支障を来している状況である。</p> <p>このことから、本事業にて各種作業用機械（乗用5連フェアウェイモア・乗用バンカーレーキ・汎用トラクター）及び乗用カートを更新することで、村民レク広場の安定的な管理運営を図り、村の観光振興に寄与するものである。</p> <p>(参考指標) 年間不具合件数 0件</p>						
補 助 事 業 の 内 容	備品購入 各種作業用機械等 一式						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度 予定	30年度 予定	31年度 予定	計
	事業費	円 25,434,000	円	円	円	円	円 25,434,000
	交付金額	20,000,000					20,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【村民レクの安定的な管理運営についての成果及び評価】 整備後、1年間の稼働状況を確認した結果、不具合件数は0件であったことから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 1) 村ホームページ及び村広報誌2016年7月号に掲載。 2) 地元区長会にて計画内容を周知。 3) 備品に「平成27年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安全かつ安定的に施設管理の運営を進めていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	伊江村立診療所透析センター維持運営事業					
補助事業者名	伊江村長					
実施場所	伊江村字川平地内					
補助事業の成果の目標	<p>本村東江前に所在する伊江村立診療所は、本村唯一の医療機関であり、これまで村内における医療・保健の提供及び健康の維持・増進を図ってきたが、本診療所では透析患者に対する設備が整っておらず、本村に在住する透析患者は、透析を受けるためやむを得ず村外の医療機関への受診のため、度重なるフェリー移動を余儀なくされていた。</p> <p>今般、本村の医療の充実化を図り、平成26年度に人工透析センターを開設し、透析患者の負担軽減を図ったものである。</p> <p>このことから、本事業により人工透析センターの運営事業を行うことで、安定的な維持運営を図り、地域住民の生活環境の改善に寄与するものである。</p>					
補助事業の内容	基金造成（医師の給料等）					
補助事業の始期及び終期	平成26年度～					
事業費及び交付金額		26年度	27年度			
		円	円	円	円	円
	基金造成額	30,000,000	35,000,000			
	市町村費等	0	0			
	その他	0	0			
	計	30,000,000	35,000,000			
	基金処分額	0	27,816,000			
基金残額	30,000,000	37,184,000				
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【透析患者の負担軽減についての成果及び評価】</b>          透析患者へアンケート調査を行ったところ、「台風時などフェリーが欠航になったときの不安がなくなった。」「家族との時間が増えた」、「安心感ができた」との声があり、100%が「満足」との回答を得たことから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p><b>【地域住民への周知の状況】</b>          1) 村ホームページ及び村広報誌2016年7月号に掲載。          2) 地元区長会にて計画内容を周知。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安定した医療の提供を確保し、透析患者の負担軽減のため安定した伊江村立診療所透析センター維持運営を行う。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	伊江村救急患者搬送船運営事業					
補助事業者名	伊江村長					
実施場所	伊江村地内					
補助事業の成果の目標	<p>本村では、内閣府補助により救急患者搬送や沿岸区域での水難事故等の救助活動、災害時の物資供給活動等を行うための「伊江村救急患者搬送船」を平成26年度に整備完了し、本村内の救急医療及び危機管理体制の充実化を図ることとし、平成27年度から供用開始している。</p> <p>本事業により当該救急患者搬送船の運営事業を行うことで、今後の安定的な維持運営を図り、地域住民の生活環境の改善に寄与するものである。</p> <p>(参考指標)</p> <p>間接的指標：救急患者搬送等に係る所要時間          通報から出動まで 約10分 (平成26年度 約15分)          伊江港から渡久地港まで約15分 (平成26年度 約23分)</p>					
補助事業の内容	伊江村救急患者搬送船の維持運営					
補助事業の始期及び終期	平成26年度 から 平成36年度					
事業費及び交付金額	基金 造成額		26年度	27年度		
			円	円	円	円
		交付金	8,000,000	8,000,000		
		市町村費等	0	0		
		その他	0	0		
		計	8,000,000	8,000,000		
		基金処分量	0	5,582,182		
	基金残額	8,000,000	10,417,818			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【救急患者搬送船の安定的な維持運営についての成果及び評価】</b>          救急患者搬送船の稼働状況を確認したところ、通報から10分以内に出動できていることから、事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p><b>【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】</b>          1) 村ホームページ及び広報誌へ掲載          2) 地元区長会にて周知</p>					
事業の改善策及び今後の対応	搬送船船体及び設備を適切に維持管理し、質の高い離島医療サービスの提供に繋げる。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	村立伊江小学校校庭整備						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	<p>伊江村立伊江小学校及び伊江幼稚園の建物は、共に築35年以上経過し、老朽化が著しいことから、耐力度調査を行った結果、「構造上危険な建物」と判断され、平成26年度から文科省補助にて改築を進めているところである。</p> <p>また、校庭についても老朽化が目立ち、新校舎からの動線に十分な安全性を確保できないことや、バリアフリーに対応できていない状況である。</p> <p>このことから、本事業により校庭整備を行うことで、安全かつ効率的な動線の確保と、バリアフリーに対応した快適な学習環境を整え、園児及び児童の学習意欲の向上と体力の保持増進に寄与する。</p>						
補助事業の内容	校庭整備 A=6,890㎡						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		平成27年度					計
	事業費	132,786,000					132,786,000
	交付金額	104,900,000					104,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【園児及び児童の学習意欲の向上と体力の保持増進についての成果及び評価】</b>          整備後、教職員及び保護者等へアンケート調査を行った結果、学習環境の安全面、機能面、園児及び児童の学習意欲について向上したとの声が多く、90%以上が「満足」との回答となったことから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p><b>【地域住民への周知の状況】</b>          1) 村ホームページ及び村広報誌2016年7月号に掲載。          2) 地元区長会にて計画内容を周知。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な施設管理に取り組むとともに、園児・児童の学習意欲の向上と体力の保持増進に寄与する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	伊江村多目的屋内運動場備品購入						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村では、各種体育大会が頻繁に開催されるなど、年々スポーツが盛んとなっており、地域住民から、天候に左右されない多目的な屋内運動場の新設が求められている状況である。</p> <p>このことから、本村では内閣府補助事業により、「伊江村多目的屋内運動場」の整備を平成27年度に完成させ、平成28年4月から供用開始することとしている。</p> <p>そこで、これに伴い当該施設運営に必要な不可欠な備品の整備について、防衛省補助事業である特定防衛施設周辺整備調整交付金事業にて実施することで、村民のスポーツ活動の充実、生涯スポーツの推進及び健康増進に繋げ、スポーツ振興を通じた地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする。</p>						
補助事業の内容	備品購入 スポーツ備品 一式 事務備品 一式						
補助事業の始期及び終期	平成27年度						
事業費及び交付金額		平成27年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	14,018,400					14,018,400
	交付金額	11,000,000					11,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【村民のスポーツ振興を通じた地域コミュニティの活性化についての成果及び評価について】</p> <p>整備後、施設利用者へアンケート調査を行った結果、スポーツ活動の充実及び健康増進に繋がったとの声が多く、90%以上が「満足」との回答となったことから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 村ホームページ及び村広報誌2016年7月号に掲載。</li> <li>2) 地元区長会にて事業内容を周知。</li> <li>3) 備品に「平成27年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</li> </ol>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な施設管理に取り組むとともに、毎月の利用者実績等を取りまとめ施設の利用促進に取り組む。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						



## 事業評価書

補助事業名	伊江村環境衛生施設維持運営事業						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村内の環境衛生施設について、ゴミ処理施設であるE&amp;Cセンター及び産業廃棄物最終処分場と火葬場である聖苑が設置されており、今日まで安定的に維持運営を図ってきた。</p> <p>今般、ゴミの減量化、資源化の推進、適正処理、処分量の削減等の環境問題に対する対応が求められている社会情勢を踏まえ、本年度も調整交付金を充当し、引き続き安定的な維持運営を図り、地域住民の生活環境の改善に寄与する。</p> <p>(参考指標) 間接的指標 1) 産業廃棄物最終処分場の搬入量(H25からH34迄の累計)88,000m<sup>3</sup> 2) E&amp;Cセンターの搬入量(H25からH34迄の累計)11,296t</p>						
補助事業の内容	環境衛生施設の維持運営						
補助事業の始期及び終期	平成24年度 から 平成34年度						
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	基金 造成額	円	円	円	円	円	
		交付金	112,700,000	4,300,000	36,300,000	4,500,000	
		市町村費等	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		計	112,700,000	4,300,000	36,300,000	4,500,000	
		基金処分数	0	13,500,000	14,000,000	13,200,000	
	基金残額	112,700,000	103,500,000	125,800,000	117,100,000		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【安定的な維持運営による生活環境の改善についての成果及び評価】 平成27年度 産業廃棄物最終処分場の搬入量10,911m<sup>3</sup> 全体に占める割合12.3% E&amp;Cセンターの搬入量1,640t 全体に占める割合14.5% 本事業実施により、村内の環境衛生施設について、引き続き安定的に維持運営が図られていることから、事業の成果が得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】 1) 村ホームページ及び広報誌へ掲載 2) 地元区長会にて周知</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き適切に維持運営するよう努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						